

登別 スタイル 暮らし

北のオアシス のぼりべつ、あなたらしく、のびやかに。

暮らし方に あなたらしさがある のぼりべつに 移住しませんか。

心あたったか人たちが待っています。
温暖な気候に恵まれた大自然が待っています。
太平洋の新鮮な海の幸が待っています。
心も体もほっこりと温めてくれる温泉が待っています。
素晴らしい出会い、感動の四季、快適な住み心地
北のオアシスが持つさまざまな魅力を集めて
あなたらしい暮らし方を実現できるまち
のぼりべつが、あなたを待っています。



登別の名称の由来…アイヌ語「ヌブルベツ」(色の濃い・川)に由来します。



鶯別岬から市街地を望む

充実した都市機能と
豊かな自然環境



のぼりべつのも
魅力を生かして
新しい暮らしを
始めてみませんか。



魅力1 日本屈指の温泉郷

登別市は日本を代表する温泉リゾート地で、国内外から毎年約400万人もの観光客を迎えています。9種類もの温泉が湧き出す登別温泉は「温泉のデパート」と呼ばれています。また、山峡の名湯として名高いカルルス温泉は、北海道で第一号の「国民保養温泉地」に指定され、多くの方が保養に訪れます。



魅力2 充実した都市機能

人口約5万人を有する登別市には、大型のショッピング施設をはじめ、市内には多くの小売店や飲食店がありますので、買い物に不便を感じることはありません。医療機関も充実しており、また、プールや図書館、多目的ホールを有する集会施設などの公共施設も充実しています。



魅力3 優れたアクセス網

空路、鉄路、航路の充実により、三大都市圏とのアクセスに優れています。新千歳空港からは鉄道、バス、乗用車ともに約1時間で移動が可能。また、北海道最大の都市・札幌までは鉄路で約1時間と主要都市へのアクセスにも優れているため観光の拠点としても人気があります。



魅力4 新鮮な海の幸

登別市には登別漁港、鷺別漁港などの漁港があり、季節によつてさまざまな魚介類が水揚げされます。主要魚種のスケトウダラのほか、サケやホッケ、毛ガニ、イカなどの水産資源に恵まれています。



魅力5 四季折々の美しさ

支笏洞爺国立公園に位置する登別市は、季節ごとの風景の変化が大きく、一年を通して自然の営みを身近に感じることができます。特に秋の景観は素晴らしく、登別温泉の源泉である地獄谷や大湯沼では湯けむりが立ち上る荒々しい岩肌と色とりどりの紅葉が生み出す幻想的な風景が広がります。



魅力6 雪少ない温暖地域

北海道でも比較的温暖な地域に位置する登別市は、一日の気温差が小さく、降雪量も少ないので冬の生活に大きな不安はありません。雪景色を楽しむながら、さまざまなウインタースポーツにチャレンジできる環境が整っています。



魅力7 災害に強いまち

室蘭地方気象台での過去の地震発生データでは最大震度は4。台風の間平均接近回数もこの10年の間では1.6回程度です。また、防災マップの整備や市内に海抜表示看板を設置するなど、市民を守る取り組みを一層強化しています。



魅力8 登別市民の人柄

登別市民は積極的な人が多く地域活動やイベントも盛んです。観光客の方を迎え入れることが多く、市民には「おもてなしの心」が育まれています。おほかで開放的な性格から、誰とでもすぐに仲良くなれるのが特色です。



登別市の概要

人口 49,550人
 世帯 24,986世帯
 面積 212.21 km²

平成28年7月現在

好きなまちで
 あなたらしく
 暮らそう。

多彩な地域力を持つのぼりべつなら
 あなたの生活スタイルに合ったまち
 が選べます。

登別市は、北海道の太平洋沿岸に位置し、四季の変化に富んだ自然環境が豊かなまちです。市の北東部に、登別温泉・カルルス温泉があり、古くから観光温泉郷として栄えてきました。市の南西部は、北海道で有数の工業地帯である室蘭工業圏の一翼として発展してきました。市の東南は、海岸沿いに平地があり、内陸は台地と丘陵、さらに奥が山地になっています。海岸線は砂浜で、南東部にある蘭法華岬、南西端の鷺別岬が岩地で、市内には、登別漁港・鷺別漁港などの漁港があります。

**4つの地域が響き合う
 暮らしのシンフォニー**

登別市の総面積は約210平方キロメートル。市街地は『登別温泉地区』『登別地区』『幌別地区』『鷺別地区』の4つの地域に分かれ、それぞれが個性豊かな特色を持つまちを形成しています。

登別温泉地区 登別温泉は日本を代表する温泉リゾート。カルルス温泉は自然あふれる登別の奥座敷の湯として人気があります。

登別地区 JR登別駅を中心とした市街地。海洋テーマパーク『登別マリンパークニクス』や登別漁港があるなど、海のイメージあふれるエリアです。



登別温泉地区 897世帯 1,307人

病院(2)、介護関連施設(10)、交番(1)、消防支署(1)、郵便局(2)、児童館(1)、図書館・資料館(1)



登別地区 2,265世帯 4,211人

保育所(1)、幼稚園(1)、小学校(1)、中学校(1)、診療所(1)、歯科診療所(3)、介護関連施設(8)、交番(1)、消防支署(1)、郵便局(1)、児童館(2)



幌別地区 10,166世帯 20,475人

保育所(2)、幼稚園(2)、小学校(4)、中学校(2)、高等学校(2)、専門学校(1)、病院(3)、診療所(4)、歯科診療所(9)、介護関連施設(20)、交番(1)、消防署(1)、郵便局(4)、児童館(4)、図書館・資料館(2)



鷺別地区 11,658世帯 23,557人

保育所(2)、幼稚園(1)、小学校(3)、中学校(2)、病院(1)、診療所(9)、歯科診療所(9)、介護関連施設(21)、交番(1)、消防支署(1)、郵便局(4)、児童館(4)



A市民活動センター(のぼりん)



B市民プール(らくあ)



E市民会館



C川上公園



F郷土資料館・文化伝承館



H岡志別の森運動公園



D亀田記念公園



G総合福祉センター(しんた21)



I市立図書館



気さくで、明るく、世話好きの登別市民。このまちで一番誇りに思うのは、愛すべき仲間と一緒に暮らせることです。

登別市連合町内会 会長 中川 信市

登別市は面積も広く、約5万人の市民がそれぞれ特色のある地域で暮らしています。町内会は地域住民がいかに安全に、健やかに暮らすことができるかなど、そこに暮らす人びと自らが考え、協力し取り組んでいく相互扶助の小地域コミュニティです。

自然災害などの緊急対応や一人暮らしの方へのケアなどは、日頃から町内会活動を通じて隣近所との親睦を深めているからこそ、自然にできるものです。

登別市には、現在95の町内会があり、エリアカバー率はほぼ100%ですので、市内のどの地域に移り住んでも、近隣住民とすぐにうち解け、不安なく暮らせます。

まずは、向こう三軒両隣の方々に、分からないことを聞いてみてください。そして、地域のまつりやイベントに参加するなど登別の暮らしを楽しんでください。

交流の輪はあっという間に地域全体に広がり、気付けば、あなた自身が地域づくりの主役として活躍していることでしょう。

それでは、気の良い仲間とともに、あなたが登別市民になれる日を心からお待ちしております。



にぎわいをみせる町内会主催のイベント



幌別地区 古くから開けた市街地。市役所や図書館、市民会館など公共施設が多いエリアです。市民の約4割が住む閑静な住宅街を形成しています。

鷺別地区 室蘭市と隣接した商業地域。大型スーパーや小売店、飲食店が集中するにぎやかなエリアです。利便性の高さから多くの市民が居住しています。

毎日を

特別な日に

しまし
ましょ
う。



登別地獄まつり

お祭りに参加しましょう。

企画運営やイベントの出演、屋台の出店など、登別で開催される祭りは市民が主体の参加型。あなたのアイデアで、一層華やかで楽しい祭りに盛り上げてください。



登別漁港まつり



のぼりべつ夏祭り

カルルス温泉冬まつり

市内の主なイベント

- ①朝市・夕市
 - ・開催日 5月～11月 土・日曜日不定期開催
 - ・場所 登別漁港・白老港
- ②地獄の谷の鬼花火
 - ・開催日 6月～8月
 - 期間中毎週木・金曜日開催
 - ・場所 地獄谷展望台周辺
- ③わくわく広場のぼりべつ
 - ・開催日 7月中旬の土・日曜日開催
 - ・場所 登別ビーチパーク
- ④のぼりべつ夏祭り
 - ・開催日 8月中旬の土・日曜日開催
 - ・場所 川上公園
- ⑤登別グリーン・ピア サマーフェスティバル
 - ・開催日 8月上旬の土・日曜日開催
 - ・場所 若草中央公園
- ⑥登別地獄まつり
 - ・開催日 8月下旬の土・日曜日開催
 - ・場所 登別温泉
- ⑦幌別地区手づくり祭り / 白石の観光と物産展
 - ・開催日 9月初旬の土・日曜日開催
 - ・場所 市役所前
- ⑧登別漁港まつり
 - ・開催日 9月中旬の土・日曜日開催
 - ・場所 登別漁港
- ⑨登別温泉湯まつり
 - ・期日 2月3日・4日開催
 - ・場所 登別温泉一帯
- ⑩カルルス温泉冬まつり
 - ・開催日 3月第一日曜日
 - ・場所 カルルス温泉サンライバスキー場



学ぶことを
楽しみましょう。



登別ときめき大学では、さまざまなジャンルの講座が開かれており、受講状況に応じて学士、修士、博士の認定が受けられます。また、その他団体との連携講座も充実しており、学ぶことを日々の暮らしの中に取り入れた生涯学習が可能です。

ビジネスチャンスをつかみましょう。



日本有数の温泉リゾート地として知られる登別は、国内外から年間約400万人もの観光客が訪れるため観光分野でのビジネスチャンスも期待できます。一定の要件を満たせば登別市事業所開設費補助金や空き店舗活用事業補助金などの支援制度を活用できます。



市民活動に 参加しましょう。

登別には約500もの市民活動団体があります。スポーツや文化活動のほか、『まちづくり』『観光』『福祉』『子育て』『環境保全』『国際交流』など幅広い分野で市民の方が積極的に活動を行っています。あなたも参加して、楽しい仲間を増やしませんか。



のぼりべつ ならではの趣味を 見つけましょう。

家庭園芸が盛んで、住宅街は花々で彩られています。また、庭が広い家庭菜園などに励む人も多くいます。都会ではかなえることができなかった新しい趣味にチャレンジしてみませんか。



子育てを 楽しみましょう。



子ども向けのイベントやプログラムが日常的に開催され、親子で参加することで子育てのヒントを楽しく得ることができます。

また、他市町に先駆け平成8年に設立したファミリーサポートセンターは、「子育ての支援をしてほしい」という方と「子育てのお手伝いをします」という方が会員になって、地域ぐるみで子育てをしています。



一年中スポーツを楽しみましょう。

夏～秋季 パークゴルフが盛んな登別では市内に数カ所のパークゴルフ場があり、数百円からプレイできます。また、テニスや野球、サッカーなど屋外競技が可能なグラウンドや室内競技を楽しめる体育館などの施設が整っています。さらに、乗馬や山登り、トレッキングなど、豊かな自然の中で健やかな体力づくりが行えます。



冬季 カルス温泉サンライバスキー場は市街地から車で1時間以内の位置にあり、手ぶらでもレンタルでスキーやスノーボードが楽しめます。また、雪上乘馬やスノーシューハイキングなど、さまざまなウインタースポーツを楽しめる施設があります。



あなたの特技を 生かしましょう。

市民活動やボランティア活動が盛んな登別なら、あなたの特技や能力を生かすチャンスがたくさんあります。あなたが指導役となって、新しいサークル活動や市民講座にチャレンジしてみませんか。



5万人の市民と友達になろう！

移住体験も
あなたらしく
自由自在に。

一カ月『さざり湯』

— 二地域居住のステップアップ —

日常生活を実感したい方には、利便性の高い市街地のウイークリーやマンスリーの賃貸物件がお勧めです。家具や家電もそろっていますので、気軽にご利用いただけます。

所在地：登別市内各所
料 金：一週間 約3万円 /
一カ月 約10万円 /
形 態：集合住宅・戸建て住宅
管理：仲介・ゆ山地不動産企画

中央町5丁目11番地1

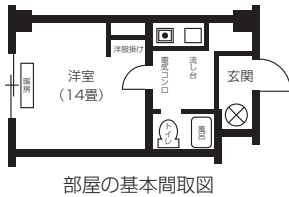


駅前立地など利便性の高い場所に位置する移住体験利用施設（短期賃貸可能物件）

移住体験を希望する2カ月前から予約が可能です。空室状況を事前に移住相談ワンストップ窓口へお問い合わせください。



『さざり湯』では、登別温泉定番の湯『硫黄泉』と、ここだけにしか湧き出していない『ミョウバン泉』の2種類のお湯を楽しめます。ミョウバン泉は、皮膚や粘膜を引き締める効果があり、結膜炎などに効果があるとされ『眼の湯』とも呼ばれます。



部屋の基本間取図



名 称：栗林ビル
住 所：登別温泉町60番地

区分	7泊8日料金	8泊以降1泊料金
1室1名	16,100円	2,300円
1室2名	30,100円	4,300円
1室3名	40,600円	5,800円

・小学生800円（1泊）未就学児は無料です。
※料金はすべて1室料金（税込）となります。
間取り 洋室 14畳ワンルーム、キッチン、ユニットバス
家具等 テレビ、冷蔵庫、洗濯機、暖房機器付き
※寝具はレンタル（1泊1組420円）

一週間『さざり湯』

— 温泉に入り放題の移住体験施設 —

栗林ビルは、登別温泉街の目抜き通り『極楽通り』に面しており、『ちよっと暮らし』をご利用の方は、併設の公衆温泉浴場『さざり湯』をいつでもご利用いただけます。

季節『さざり湯』

— お気に入りの季節を登別で過ごす —

北海道でも比較的温暖で降雪量も少ない登別市は、厳冬期であっても不便なく暮らせます。完全移住を希望する方は、冬季の移住体験をお勧めします。また、秋は紅葉を楽しめ、天候も安定していますのでシーズンステイに最適です。



完全移住『さざり湯』

— 滞在中の交通手段が選べる —

自家用車はもちろん、バスや電車などの交通機関の利用やレンタカーなど、さまざまな交通手段を使い、移住体験をお楽しみいただけます。市街地を拠点にする、徒歩圏に買い物などの生活施設がそろっていますので、ゆつくりと歩きながら、まちの様子を知ることができます。



7泊8日のショートステイから数カ月にわたるロングステイまで、ご希望に合わせたスケジューリングが可能です。また、好みの季節を毎年訪れる『シーズンステイ』、現在のお住まいと登別の2カ所に居を構えて、二つのまちを自由に楽しむ『二地域居住』など、さまざまなスタイルの移住を楽しめます。



温泉天国のぼりべつならではの 移住体験をお楽しみください。

温泉のデパート登別温泉郷

自然湧出量1日約1万トン、源泉温度約45〜90℃、硫黄泉や食塩泉、鉄泉、ミョウバン泉など9種類の温泉が湧き出しています。大昔より温泉を薬湯として重宝していたといわれ、江戸時代には、最上徳内が『蝦夷草紙』でその存在を記しています。最大の源泉エリア地獄谷は爆裂火口の跡で、直径約450メートルのエリアに数多くの源泉の穴が密集。毎分3,000リットルほどの源泉が湧き出しています。



おすすめの体験
大湯沼川の湯があふれ出た大湯沼川の天然足湯は、野趣あふれる人気の高い温泉です。四季折々の風景の中で、心と体を癒すことができます。



登別市移住体験「ちょっと暮らし」

移住体験をされる方に様々な特典をご用意しております。

- 食器や調理具を無料で貸与いたします。地元の食材を存分に味わって頂くために、自炊用の食器や調理具を無料で貸与いたします。
- レンタカーをお得に借りることができます。市内にあるレンタカー会社では特別料金など特典付きで車を借りることができます。
- 図書館で本を借りることができます。図書館の本や資料を借りる時に必要な「利用者カード」を発行いたします。
- フェリーの割引が受けられます。津軽海峡フェリー(青森/大間~函館)「フェリーでらくらく移住割引」商船三井フェリー(大洗~苫小牧)「船でゆったり移住割引」移住体験者の方に登別市が上記のフェリー割引証を発行いたします。
- 市職員が車で登別市のまちを案内いたします。観光ガイドブックには載っていない生活者目線の登別を実感できます。
- 住宅や店舗などの不動産情報を提供いたします。希望により、物件をご覧いただく手配をいたします。

上記の「ちょっと暮らし」特典の詳細については登別市ワンストップ窓口にお問い合わせください。

登別市の魅力を動画で紹介しています。



「あったかいまち登別」検索
「温泉」「グルメ」「観光」「環境(くらし)」「ひと」「アクティビティ」の6つのテーマで、登別市の魅力を教えてください。ぜひ、ご覧ください。

温泉保養地 カルルス温泉郷

登別温泉の北西約8キロメートル、高い山々に三方を囲まれた狭い谷あいにあるカルルス温泉は、開湯より100年を超える歴史を誇り、国から北海道で第二号の『国民保養温泉地』に指定されました。カルルスの名称は、チェコスロバキアのカルルスバード(現在は、チェコ共和国のカルロビ・バリ)の泉質に似ていることに由来します。日量1,300トンの勢



いで365日絶えることなく流れる芒硝性単純泉で、冷え性を含む自律神経失調症や筋肉性の頭痛と疲労、ストレッチ、筋肉痛、関節痛、リウマチ、腰痛、アトピー性皮膚炎などが主な適応症です。

おすすめの体験 日帰り入浴を 楽しみましょう

4軒ある宿泊施設では、日帰り入浴が可能。また、各施設とも連泊プランを提供していますので、ゆったりと温泉を楽しみながら移住体験をしたい方にもお勧めです。特にウインタースポーツが好きな方は、徒歩圏内にカルルス温泉サンライバスキー場があるので、スキーやスノーボードを連日楽しむことができます。



おすすめしたい

ちよつと暮らし体験メニュー

市民活動に参加してみましよう。



登別市には約500の市民活動団体があり、スポーツや文化活動の他に『まちづくり』『観光』『福祉』『子育て』『環境保全』『国際交流』など、幅広い分野で市民の方が盛んに活動を行っています。例えば市民活動センター『のほりん』に登録しているスポーツ・文化活動団体だけでも100を超えます。移住体験中にチャレンジしたい活動があれば、ぜひご参加ください（受け入れの確認が必要となりますので、事前に移住相談ワンストップ窓口にお問い合わせください）。

テーマパークで学びましよう。

世界的にも珍しいヒクガマの博物館『のほりべつクマ牧場』、イルカやペンギンなどの海に生きる哺乳動物や多彩な魚たちが海洋ファンタジーを繰り広げる『登別マリンパークニクス』、広大な敷地に江戸時代の街並みを再現し、当時の人びとの暮らしを紹介する『登別伊達時代村』など、楽しみながら学ぶことができるテーマパークへ出掛けましよう。

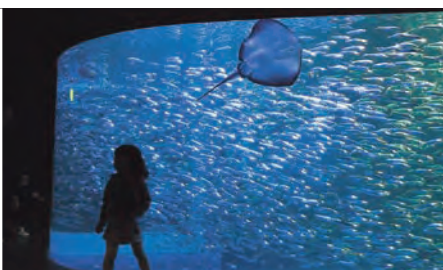
文化施設を訪ねてみましよう。



のほりべつ文化交流館カント・レラ



登別市郷土資料館



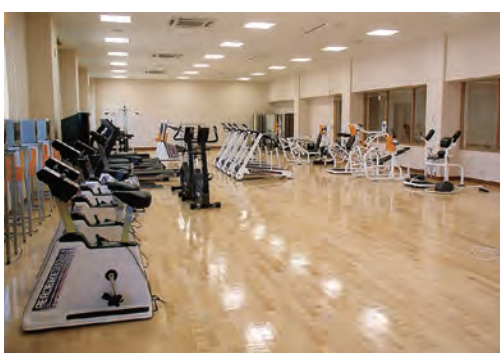
写真上 登別マリンパークニクス
写真左上 のほりべつクマ牧場
写真左 登別伊達時代村



北海道暮らしに欠かせない道具や北海道限定販売の商品などがあり、楽しみながら暮らしのヒントを見つけることができます。また、電話一本で商品を届けてくれる宅配や在宅サービスを利用することも可能です。

地域の商店をのぞいてみましよう。

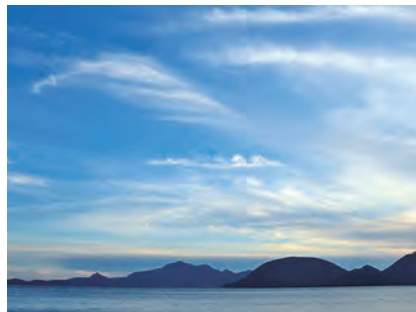
市民プールで滞在中でもトレーニング。



市民プール『らくあ』は、公式の水泳大会が開催できる本格的な競泳プールのほか、水中ウォーキングのコースやゆったりとくつろげるジャグジーもあります。また、最新のトレーニングマシンを備えたジムやさまざまなプログラムが行われるスタジオが併設されています。

支笏洞爺国立公園を
楽しみましょう。

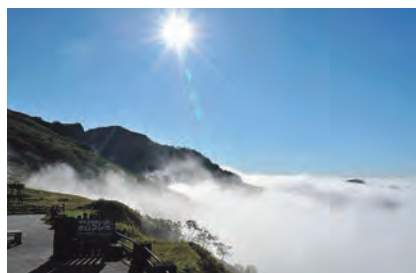
登別市は支笏洞爺国立公園のほぼ中央に位置しており、洞爺湖や支笏湖へは約1時間圏内。広大な空と緑豊かな大地、ダイナミックな太平洋と自然美あふれる噴火湾の景観。登別市が位置する胆振地方は北海道有数の景勝地であり、それぞれの観光スポットへのアクセスも容易なため、気軽に美しい風景を楽しむことができます。



洞爺湖

春・夏・秋・冬
四季の自然を
楽しみましょう。

四季それぞれの景観を楽しめる登別ですが、秋は本州とは異なる見事な紅葉をご覧いただけます。また、サケの遡上や白鳥などの渡り鳥の飛来など、大自然の営みに触れられることも魅力の一つです。



オロフレ山 雲海



地元で水揚げされた
旬の海産物を
味わいましょう。

活毛ガニをはじめ、ホッキ貝や秋サケなど、地元で獲れた海産物のPRと地産地消の促進を目的に開催される「朝市夕市」。登別漁港と白老港の両港で旬の幸が浜値で提供されます。また、手作り干物や加工品などの即売会も人気です。

問合せ先 いぶり中央漁業協同組合
電話 014318315001

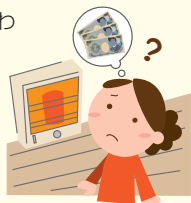
移住定住ワンストップ窓口にお気軽にお問い合わせください。



移住
Q&A

Q. 冬の暖房費はどれくらい掛かりますか？

A. 世帯人数や家の広さ、家屋の断熱性能にもよりますが、灯油ストーブでひと月あたり2~4万円程度掛かります。真夏でもクーラーを必要とすることがなく、一年を通して光熱費を捉えたと他の地域と大きく変わりません。



Q. 雪かきはどのくらい必要ですか？

A. 公道は、国や自治体で除雪しますが、私道や家の周りは雪かきが必要です。豪雪ではないので、雪かきはそれほど大変ではありませんが、スノーダンプ（雪かき専用シャベル）で、必要に応じて雪かきをする必要があります。



Q. 冬の生活が心配です。雪下ろしの経験もありません。

A. 北海道の南西部に位置し太平洋に面した登別市は、雪が少なく温暖で真冬でも暮らしやすいです。また、屋根の雪下ろしの心配もほとんどありません。断熱効果の高い屋内はとても暖かく、薄着で過ごす方も多いです。



Q. マイカーは必要ですか？

A. 三大都市圏と比べると公共交通に不便を感じることがありますので、自家用車がある方が便利です。必要なときだけレンタカーを借りるなど、住む場所やライフスタイルによって考えるとよいでしょう。



Q. 賃貸住宅や中古住宅を探したいのですが？

A. 市内には住居や事務所、店舗などの賃貸や分譲物件を扱う不動産取引業者が複数あり、最新の物件情報を紹介しています。登別市のホームページに市内不動産業者のリンク集がありますのでご利用ください。



Q. 冬にはどんな楽しみがありますか？

A. スキーやスノーボードはもちろん、雪の中を自然観察しながら散策するツアーなど、雪や氷をテーマにしたさまざまなイベントが行われています。



Q. 地域の暮らしになじむにはどのようにしたらいいですか？

A. 町内会へ入会し、近隣の住民の皆さんが集まるイベントや集会に出掛けると、自然にあいさつを交わす間柄になれます。さらに、市民活動や祭りなどに積極的に参加し、交流の輪を広げましょう。



Q. インターネットはつながりますか？

A. 一部を除いて、市内のほぼ全地域でブロードバンドの利用が可能です。詳しくは各通信会社へお問い合わせください。



Q. 冬道の運転が不安です。

A. 冬道は慣れていなければ危険なこともあります。スピードを十分に落として、交通ルールを守ることが基本です。悪天候の際は unnecessary 外出は控えます。運転に自信が持てない方は、自動車学校で実施している冬道運転講習を受けてみるのも良いでしょう。



のぼりべつ 移住生活



北の大地で乗馬を初体験したいと、年間約2,000人もの乗馬客が遊鞍を訪れます。

「人生最大の決断」

のぼりべつの地で家族の笑顔を取り戻し、想像もしていなかった大きな夢を描き始めた加藤伸明さん。

幼い頃からの夢を実現し、サラブレッドを養育する厩務員として大井競馬場で働いていた加藤さん。馬好きの縁が実り綾香さんと結婚、長男の聖虎くんも生まれますすべてが順調でした。

転機は大きな揺れとともに訪れます。平成23年3月11日に発生した未曾有の大地震が、加藤さんとその家族の人生を大きく変えることとなります。幸い家族にけがはなく、家屋の損傷もありませんでしたが、2カ月前に生まれたばかりの聖虎くんの哺乳瓶が割れ、綾香さんは強いショックを受けます。

余震におびえる二人を北海道の綾香さんの実家に帰省させ、落ち着いたら東京へ連れ帰るつもりでいた加藤さんですが、余震は収まらず、食料品や日用品は店から消え、放射能漏れによる健康面での悪影響も心配でした。

「ここに呼び戻すことはできない」、悩み抜いた末に「家族が安心して暮らせるなら北海道で暮らそう」と決意した加藤さん。

一番の不安は仕事です。自分には馬しかない牧場での仕事を求め、新天地北海道へ向かいます。まさに「人生最大の決断」であったと言えます。

希望の光が差したのは義父の一言でした。「登別には馬の育成に最適な高原地がある」と言うのです。義父の支援も受け、札幌地区に土地を取得、家族ぐるみで乗馬クラブを経営することになったのです。「用地取得から開業まで1年掛かりま

した。土地の開墾、厩舎の建築、乗馬コースの整備、すべて手づくりです」。お客様を迎え入れるクラブハウス以外は自作で、溶接や木工など、道具さえ見たことのない作業に、当初は戸惑いもありました。

「一番苦労したのは、人を落馬させない馬を開業までに育てることです」。一頭につき毎日数時間の訓練が必要で、綾香さんと義父も訓練に参加し、まさに家族ぐるみで3頭の馬を育成しました。

苦労のかけがあり、予定通り平成24年6月に開業。順調にクラブ会員を増やし、今では国内外から年間二千人近くの乗馬客が来場するほどのにぎわいです。

「自然豊かな公園のようなまちで、子育てができることは、私たち夫婦にとって最大の喜びです」と語る加藤さん。さらに、サラブレッドを生み育てレースに送り込むという、首都圏暮らしでは実現困難な夢も描きはじめています。



加藤さんの指導で、小さな子どもたちも乗馬を楽しんでいます。



登別ホースパーク遊鞍場長 加藤 伸明さん
神奈川県川崎市出身

「あたたかい家庭を築きたい」

東京でファッションデザインのキャリアを積んでいた井元美穂さんは、ふるさと登別へUターンする道を選びました。



ひときわ目を引くオシャレな雰囲気、海外からの観光客にも人気のカフェ garden。

高校までを登別市で暮らし、札幌の専門学校でデザインを学んだ後、東京のアパレル会社へ就職、デザイナーとしてファッション界でのキャリアを積んでいた美穂さん。「東京はデザイナーとして経験を積むにはとても良い環境でした」と言います。

一方で、あたたかい家庭を築く夢を描いていた彼女にとって、慌ただしい都会は子育てには不向きと感じられました。キャリアか、家庭か、歩むべき方向に迷う日々が続き、考えを整理するため登別へ帰郷。ふるさとは、ゆったりとした時間が流れ、懐かしい人たちの笑顔がありました。

帰郷後しばらくして、耕さんと出会います。高校を卒業後、東京の美大で学びクリエイターとして活躍していましたが、華やかな世界で存在感を示すことは、健康やかな暮らしと引き換えの日々でもあり、耕さんもまた、東京での多忙な暮らしを見つめ直すため登別へ帰っていました。

ふたりは気持ちを通し合い結婚。「主人には札幌で仕事をするという考えもあったようですが、自分が地元の人たちのためにできることがあるのではと思ひ、登別の人とまちのために、精いっぱい頑張りたいという気持ちになったのです」と美穂さんがご主人の心の内を明かしてくれました。耕さんは市内にデザイン会



常連となったオーストラリア人家族との交流も楽しみのひとつ。

社を立ち上げ、地元企業の広告宣伝や市のPRを手掛けるなど、デザインを通してふるさとを活性化させる仕事に情熱を注いでいます。

いつの日か、ふたりで楽しく働ける場所を持ちたいと夢を描いていましたが、その日はすぐに訪れます。二人の願いを地元の人たちも支え、登別温泉街の目抜き通りである極楽通りに「デザイン事務所を併設した『カフェ garden』」を平成25年6月にオープン。「主人と私の耕した garden(庭)で、たくさんの出会いや出来事が生まれ育つてくれれば」と美穂さんは願います。ひときわ目を引くオシャレで開放的な雰囲気は海外からの観光客も魅了し、マスクミに取り上げられるなど、話題のスポットになっています。

二人にとつての最大の喜びは、長男の晴くんが誕生したことです。晴くんが生まれたことで、美穂さんと耕さんは、パートナーから家族になったのだと感じています。そして、縁や絆というものの大切さを改めて感じる日々であるといいます。「晴もいつか遠くで暮らす日がくるでしょう。いつでもあたたかく迎え入れてくれるふるさと登別を、次世代につなげていきたい」と美穂さんは笑顔で語ります。



カフェレストラン garden by Till
店長 井元 美穂さん
北海道登別市出身



誰もがふっと立ち寄りしてしまう
開放的な雰囲気のカフェ garden

健康・子育て・仕事・教育

支援制度の紹介

いつまでも健やかに暮らす

健康・医療・介護

医療機関・介護施設も充実

市内には、約40カ所の病院・診療所があり、隣接市には24時間の救急医療体制を敷く総合病院があるので安心です。また、介護関連施設も市内に多数あります。

乳幼児等医療費助成制度

- 小学生までの医療費の負担を軽減しています。
- 3歳未満および住民税が非課税の世帯の方は初診料（医科580円、歯科510円）のみで受診可能
- 3歳以上で住民税が課税されている世帯の方は、総医療費の1割相当の一部負担金で受診可能
- ※通院・入院・指定訪問看護が対象。ただし小学生は通院を除く。
- ※所得制限などの条件があります。



登別市地域包括支援センター「けいあい」

[DATA]

- 医療機関
 - ・病院 6カ所
 - ・診療所 16カ所
 - ・歯科診療所 21カ所
- 介護関連事業所
 - ・居宅介護支援 12カ所
 - ・訪問介護 8カ所
 - ・訪問看護 5カ所
 - ・通所リハビリ 4カ所
 - ・通所介護 14カ所
 - ・短期入所生活介護 2カ所
 - ・短期入所療養介護 1カ所
 - ・特定施設入居者生活介護 4カ所
 - ・介護老人福祉施設 2カ所
 - ・介護老人保健施設 1カ所
 - ・介護療養型医療施設 1カ所

高齢者の自立をサポート 地域包括支援センター

介護や福祉、医療、健康などの総合的な相談に応じ、必要な支援や介護予防を行っています。

名称	所在地
地域包括支援センターあおい(愛桜)	登別東町(登別地区)
地域包括支援センターゆのか	片倉町(幌別地区)
地域包括支援センター「けいあい」	鷺別町(鷺別地区)

安全に安心して、楽しく子育て

子育て・保育

子育て環境が充実したのびりべつ

市内には、保育所が5カ所、幼稚園が4カ所あるほか、学童保育施設も充実。乳幼児の子育て支援制度もあり、安心して子どもたちを生み育てることができます。

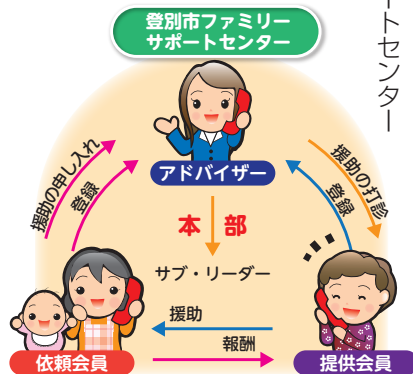
仕事に育児に頑張る家族を応援

放課後児童クラブ

仕事などで保護者が日中不在になる家庭の小学校低学年児童などに、適切な遊びや生活の場を提供。市内7カ所で開設しています。

登別市ファミリーサポートセンター

「育児の援助をした方」と「育児の援助を受けたい方」がそれぞれ登録し、相互での子どもの預かりや保育所・幼稚園への送迎などをします。



[DATA]

□保育所(市立)

名称	場所
富士保育所	富士町(幌別地区)
鷺別保育所	鷺別町(鷺別地区)
登別保育所	登別本町(登別地区)
栄町保育所	栄町(鷺別地区)
幌別東保育所	幌別町(幌別地区)

□幼稚園(私立)

名称	場所
リリー文化幼稚園	鷺別町(鷺別地区)
登別カトリック聖心幼稚園	中央町(幌別地区)
白菊幼稚園	桜木町(幌別地区)
白雪幼稚園	登別本町(登別地区)

□子育て支援センター・子育てひろば

名称	場所
中央子育て支援センター	富士町(幌別地区)
登別子育て支援センター	登別本町(登別地区)
富岸子育てひろば	富岸町(鷺別地区)

□放課後児童クラブ(学童保育)

名称	場所
富岸児童クラブ	富岸町(鷺別地区)
常盤児童クラブ	常盤町(幌別地区)
若草児童クラブ	若草町(鷺別地区)
青葉児童クラブ	桜木町(幌別地区)
幌別西児童クラブ	片倉町(幌別地区)
鷺別児童クラブ	鷺別町(鷺別地区)
登別児童クラブ	登別本町(登別地区)



登別市ファミリーサポートセンターの活動風景



コロボックルの森(白雪幼稚園・登別保育所)

登別で働きたい人をさまざまな形で応援

就職・起業・創業

ビジネスに強いまち のぼりべつ

登別市は基幹産業の観光のほか、畜産業や漁業などの第1次産業も盛んです。地域産業と連携して、あなたのビジネスチャンスを広げませんか。

起業・創業

空き店舗活用事業補助金

市内の空き店舗を利用して事業を行う際の店舗賃借料の2分の1を補助します。(12カ月間、月額上限5万円)

登別市事業所開設費補助金

新たな事業所を開設するために必要な建物や設備の整備に必要な経費の2分の1を補助します。
(上限20万円 但し、登別温泉町の指定区域は上限50万円)

店舗リフォーム補助金

集客力やサービスの向上に必要な店舗の全部または一部のリフォームに必要な経費の2分の1を補助します。(上限20万円)

登別市商談会等出展補助金

自社製品・技術及びサービスの販路拡大を図るため、商談会、展示会、見本市等の出展経費の一部を補助します。(上限20万円)

就職

キャリアサポートのぼりべつ

就職活動の不安や悩みを経験豊富なキャリアカウンセラーがサポートします。

ジョブガイドのぼりべつ

公共職業安定所と市が共同で運営。職業相談、職業紹介に応じます。



キャリアサポートのぼりべつ

[DATA]

- 観光産業（登別温泉・カルルス地区など）
年間約400万人が訪れる登別の基幹産業。
- 農業（札内地区）
酪農・畜産が中心。生乳の品質は、北海道でもトップクラス。
- 漁業（登別・富浦・鷺別地区）
たらこの原料となるスケトウダラは、全国有数の水揚げ高を誇ります。ホッキ貝やサケ、毛ガニなど魚種も豊富。

事業所・従業者（出典：登別市統計書平成27年版）

区分	事業所	従業者
1次産業	9	73
2次産業	314	2,486
3次産業	1,362	12,666



登別地方高等職業訓練校



空き店舗活用事業利用例（エムズキャンドルハウス）

すべての方に学ぶ楽しさを

教育・生涯学習

充実の施設と市民講座を展開

市内には、8カ所の小学校、5カ所の中学校、高等学校と中等教育学校が1カ所ずつあるほか、公共施設では、文化やスポーツなど、さまざまな分野のサークル活動が行われています。



市民プール「らくあ」

公共施設へ出かけてみよう

市内には、体育館やプール、公民館などの施設があり、文化・スポーツなどさまざまな分野でサークル活動が行われています。広報紙には各施設のイベントなどが掲載されていますので、広報紙を片手に出かけてみるのもよいのではないのでしょうか。



登別市立幌別小学校

[DATA]

□ 小学校（市立）

名称	場所
幌別小学校	中央町(幌別地区)
幌別西小学校	片倉町(幌別地区)
鷺別小学校	鷺別町(鷺別地区)
登別小学校	登別本町(登別地区)
富岸小学校	富岸町(鷺別地区)
幌別東小学校	幌別町(幌別地区)
若草小学校	若草町(鷺別地区)
青葉小学校	青葉町(幌別地区)

□ 中学校（市立）

名称	場所
幌別中学校	千歳町(幌別地区)
鷺別中学校	鷺別町(鷺別地区)
登別中学校	登別本町(登別地区)
西陵中学校	片倉町(幌別地区)
緑陽中学校	富岸町(鷺別地区)

□ 高等学校・中等教育学校（北海道立）

名称	場所
登別青嶺高等学校	青葉町(幌別地区)
登別明日中等教育学校	片倉町(幌別地区)

□ 主な公共施設

名称	場所
市民会館	富士町(幌別地区)
鷺別公民館	鷺別町(鷺別地区)
婦人センター	登別東町(登別地区)
登別温泉ふれあいセンター	登別温泉町(登別温泉地区)
市立図書館	中央町(幌別地区)

学んで広がるみんなの輪 登別ときめき大学

登別ときめき大学は、年齢・性別に関係なく学ぶことのできる市民大学です。基礎コースと連携コースで構成し、興味のある講座を受講することができます。

【基礎コース】自然、消費生活などのテーマで6～8講座

【連携コース】市内で開催されているさまざまな講演会などと連携し、約80講座を実施。

登別市へ ようこそ

北海道の空の玄関口新千歳空港から車で約1時間。
道内主要都市へのアクセスにも優れています。

交通アクセス

空路

最寄りの新千歳空港へは、三大都市圏など主要各都市より日本航空、全日空、エア・ドゥ、スカイマーク、ピーチアビエーション、ジェットスター等が運航しています。



海路

苫小牧港 ⇄ 大洗(商船三井フェリー)
苫小牧港 ⇄ 仙台・名古屋(太平洋フェリー)
苫小牧港 ⇄ 八戸(川崎近海汽船)
苫小牧東港 ⇄ 秋田・新潟・敦賀(新日本海フェリー)
函館 ⇄ 青森・大間(津軽海峡フェリー)

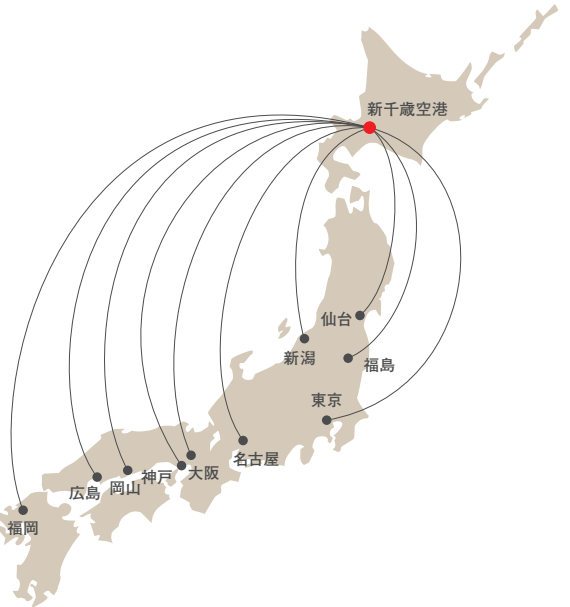


フェリー移住割引証

商船三井フェリー(大洗～苫小牧)
津軽海峡フェリー(青森/大間～函館)
『移住割引証』を発行します。
※割引証の発行は事前連絡が必要です。
詳しくは問い合わせください。

JR線

札幌 ⇄ 登別 特急:約1時間10分
函館 ⇄ 登別 特急:約2時間15分
新千歳空港 ⇄ 登別 特急:約50分(南千歳乗り換え)
苫小牧 ⇄ 登別 特急:約25分、普通:約45分
旭川 ⇄ 登別 特急:約2時間30分(札幌乗り換え)



バス路線

登別駅 ⇄ 登別温泉 バス:約15分
札幌駅 ⇄ 登別温泉 バス:高速約1時間50分
新千歳空港 ⇄ 登別温泉 バス:高速約1時間15分
苫小牧駅 ⇄ 登別温泉 バス:約1時間10分
※札幌駅 ⇄ 室蘭(「登別」で登別温泉行きに乗り換え)
新千歳空港 ⇄ 室蘭(「汐見坂」または「登別東インターチェンジ前」で登別温泉行きに乗り換え)



マイカー

登別温泉
国道36号(登別駅前交差点)より約8km
道央自動車道(登別東IC)より約6km

カルルス温泉
国道36号(登別駅前交差点)より約14km
道央自動車道(登別東IC)より約12km

新登別温泉
国道36号(登別駅前交差点)より約8km
道央自動車道(登別東IC)より約6km

レンタカー 移住体験の方は特別料金等の特典付きでレンタカーを借りることができます。

移住体験の問い合わせと申し込み

登別でのちょっと暮らしを親身になってお手伝い。体験施設の手配から滞在中の生活アドバイスはもちろん、のぼりべつ移住に関する情報提供やサポートをします。お気軽に問い合わせください。

- 担当者がまちの概要を説明いたします。希望があれば、病院や公共施設などをご案内します。
- 移住体験に必要な食器や調理具を無料で貸し出します。
- 図書館で本を借りる時に必要な「利用者カード」を発行いたします。
- 「のぼりべつ市民便利帳」を進呈します。
- 商船三井フェリー(大洗～苫小牧)・津軽海峡フェリー(青森/大間～函館)『移住割引証』を発行します。

※割引証の発行は事前連絡が必要です。詳しくは問い合わせください。

登別市移住相談ワンストップ窓口(登別市総務部企画調整グループ)

〒059-8701 北海道登別市中央町6丁目11番地

電話 0143-85-1122 ファクス 0143-85-1108

Eメール kikaku@city.noboribetsu.lg.jp ホームページ <http://www.city.noboribetsu.lg.jp>

